

# 1. 基礎関数 1

# 1-1 関数とは

関数とは、あらかじめ定義されている数式のことをいいます。関数を使用すると、複雑な数式も 「関数名」と計算に必要な「引数」を指定するだけで計算を行うことができます。

関数の書式=関数名(引数 1,引数 2,…)

### ■関数の入力方法

関数の入力方法には、[ホーム]タブの└Σ・┤ [合計]ボタンを利用する方法、 🚣 [関数の挿入]ボタンから ダイアログボックスを表示し指定する方法、[数式]タブの[関数ライブラリ]の各ボタンから指定する方法、キーボー ドから直接入力する方法があります。

# 1-2 [合計]ボタンからの関数の挿入

[合計]ボタンでは、使用頻度の高い、合計、平均、数値の個数、最大値、最小値の 5 種類の関数を 入力することができます。ここでは SUM(合計)を使用して数値の合計を求めます。

■SUM(サム)関数 数値を合計します。

書式 =SUM(数値 1,数値 2,・・・) 数値:対象セル、セル範囲、数値などを指定します。

### ⑦操作 売上日報の売上合計を求めます。

① 関数を挿入するセルを選択します。【F5】セルをクリックします。 A ġ. ②関数を挿入します。「ホーム]タブ「編集]グループの「合計]ボタンから「合計]を Σ 合計(5) クリックします。 <u> 内防(A)</u> ③合計したいセル範囲【C4~C17】セルをドラッグします。 数値の個数(C) ④[Enter]キーを押し数式を確定します。 最大値(M) 数式を確定すると数式の結果が【F5】セルに表示されます。 最小値(I) 数式バーには数式が表示されます。 その他の関数(F)...  $\cdot$  :  $\times \checkmark f_x$  =SUM(C4:C17) C4 D 売上日報 日付 曜日 売上金額 2016/4/1 金曜日 82000 88000 <u>売上合計</u>=SUM(C4:C17) SUM(数値1,[数値2],...) 5 2016/4/2 土曜日 147000 121000 2016/4/3 日曜日 売上平均 月曜日 2016/4/4 91 000 88000 85000 2016/4/5 火曜日 営業日数 2016/4/6 水曜日 2016/4/7 木曜日 2016/4/8 最大売上額 金曜日 64000 57000 2016/4/9 十曜日  $\times$  $f_x$  =SUM(04:017) F5  $\sim$ 日曜日 178000 3 2016/4/10 168000 14 2016/4/11 月曜日 F В Ċ 85000 78000 15 2016/4/12 火曜日 売上日報 水曜日 16 2016/4/13 2 2016/4/14 木曜日 🗘 93000 曜日 3 日付 売上金額 4 2016/4/1 金曜日 82000 売上合計 5 2016/4/2 土曜日 88000 1425000 201674

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

#### [関数の挿入]ボタンからの関数の挿入 1 - 3

[関数の挿入]ボタンから[関数の挿入]ダイアログボックスを表示すると、キーワード検索したり、関数の分類 から目的の関数を探すことができます。ここでは AVERAGE 関数を挿入して数値の平均を求めます。

■AVERAGE(アベレージ)関数 数値の平均値を返します。

書式 =AVERAGE(数値1,数値2,・・・) 数値:対象セル、セル範囲、数値などを指定します。

### ⑦操作 売上平均を求めます。

①関数を挿入する【F7】セルをクリックします。 ②関数を挿入します。数式バーの ▶ [関数の挿入]ボタンをクリックします。 [関数の挿入]ダイアログボックスが表示されます。 ③[関数の検索]ボックスに「平均値」と入力し、 「検索開始]ボタンをクリックします。 検索結果が「候補」として一覧表示されます。 ④[AVERAGE]を選択します。 [OK]ボタンをクリックします。

⑤[関数の引数]ダイアログボックスが表示されます。 平均値を求めるセル範囲【C4~C17】セルを ドラッグします。

F7		: X 🗸	f <sub>x</sub>		
	A	В	D D	Е	F
1	売上日報		関数の挿入		
2					
3	日付	曜日	売上金額		
4	2016/4/1	金曜日	82000		
5	2016/4/2	土曜日	88000	売上合計	1 4 2 5 0 0 0
6	2016/4/3	日曜日	147000		
7	2016/4/4	月曜日	121000	売上平均	
8	2016/4/5	火曜日	91 000	L	

関数の挿入 ? ×
関数の検索( <u>S</u> ):
平均值 検索開始(G)
関数の分類( <u>C</u> ):候補 >
関数名(№):
AVERAGE DAVERAGE T.TEST
DCOUNTA TTEST AVERAGEA
AVERAGE(数値1,数値2,) 引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定 できます。
<u>この関数のヘルプ</u> OK キャンセル



Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.

# 2. 基礎関数 2

# 2-1 [数式]タブからの関数の挿入

[数式]タブの[関数ライブラリ]グループでは、関数の分類ごとにボタンが用意され、目的の関数を挿入する ことができます。ここでは数値の個数を求める COUNT 関数を挿入して営業日数を求めます。

■COUNT(カウント)関数 数値データの個数を返します。

書式 = COUNT(数値 1,数値 2,・・・) 数値 : 対象セル、セル範囲、数値などを指定します。

### ◇⑦操作 営業日数(数値の個数)を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【F9】セルをクリックします。

②[数式]タブ[関数ライブラリ]グループ[その他の関数]ボタンから[統計]を選択し[COUNT]を選択します。
関数名をポイントすると関数の引数と簡単な説明を確認することができます。

ファ・	イル ホーム	挿入 ペー	ージ レイアウト	数式	データ	校閲	表示							
f3 BHX	$r \sum_{t=1}^{\infty} \frac{1}{t}$		?	<u>کار جارہ</u>	「「「「「」」		ו ה בתא		□ 名前 況 数式	iの定義 ▼ で使用 ▼	診・参照元のト ● <	レース レース	「図 数式の ── ↓ エラー き	表示 チェック・
挿	SUM -	期数▼ ▼	- 操作	УЛ ЩТЛ/Ф Т. т. т. т.	* 1100 1000 1000 T	*	閣数	[▼ 管理	, 🔓 選択	範囲から作成	💺 トレース矢日	の削除	<ul> <li>- ⑥ 数式の</li> </ul>	検証
			関数ライブ	5U				統計( <u>S</u> )	×.	CHISQ.	DIST	▲ 7·	ークシート分析	
F9	*	- X ./	f.				Ŕ	エンジニアリン	ッグ( <u>E</u> ) →	CHISQ.	DIST.RT	-		
			Ja					‡ュ−ブ( <u>C</u> )	Þ	CHISQ	.INV			
	A	В	С	D	E	F		情報(I)	•	CHISQ.	.INV.RT		K	L
1	売上日報							互換性(C)	•	CHISQ	TEST			
3	日付	曜日	売上金額					Web(W)	•	CONFIL	DENCE.NORM			
4	2016/4/1	金曜日	82000					( <u>11</u> )		CONFIL	DENCE.T			
5	2016/4/2	土曜日	88000		売上合計	142	25000	I		CORRE	L			
6	2016/4/3		147000		专士亚扬	4 04 70	E 74 4			COUNT				
8	2016/4/4	/ 唯日	91.000	-	元上十均	10178	5./14	-		COLINT	Δ			
9	2016/4/6	水曜日	88000		営業日数			1		COUNT	COUL	NT(值1,	.值2,)	
10	2016/4/7	木曜日	85000							COUNT	範囲内	の、数値	きが含まれるセル	の個
11	2016/4/8	金曜日	64000	1	最大売上額					COUNT	↓ト 数を返	します。		

[関数の引数]ダイアログボックスが表示されます。 ③数値データの個数を求めるセル範囲【C4~C17】セルをドラッグします。

④[OK]ボタンをクリックします。

	4	в	C	D	E	F	G	H	1	0	K	E 10	M	N
売上	日報				762.00								79305	18075
8	付	BE	売上金額							関数の	引数			7 ×
201	6/4/1	金曜日	82000							110				
201	6/4/2	土曜日	88000		売上合計	1425000	COUNT				_			
201	6/4/3	日間日	147000					#1 C4:C1	1		<b>16</b> - (82)	000-88000-	47000-1210	00:
201	6/4/4	月曜日	121000		売上平均	101785.714		Banda Triter	90-		Local Control			0.07111
201	6/4/5	火曜日	91 000					(重2			<b>-</b> 27(2			
0.04	A ( A (A	-A-1166 [T]	00000		and the line and	e/ e + e + m1								
201	0/4/0	小嘴口	1 000001		古来口砚	1104:01 71								
201	6/4/7	木曜日	85000		古来口韵	1104:0171								
201	6/4/0 6/4/7 6/4/8	木曜日 金曜日	85000		最大売上額	11040171								
201 201 201 201	6/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/9	<u>木曜日</u> <u>赤曜日</u> <u>金曜日</u> 土曜日	65000 64000 57000		最大売上額	11040171								
201 201 201 2016	6/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/9 6/4/9	<u>木曜日</u> 金曜日 土曜日 日曜日	85000 85000 57000 178000		最大売上額	11040170								
201 201 201 2016 2016	6/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/9 /4/10 /4/11	<u>木曜日</u> 金曜日 土曜日 日曜日 月曜日	64000 64000 57000 178000 168000		最大売上額						= 14			
201 201 201 2016 2016 2016	6/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/8 6/4/9 /4/10 /4/11 /4/12	<u>木曜日</u> 金曜日 土曜日 月曜日 火曜日	63000 85000 57000 178000 168000 85000		最大売上額	1040171	範囲内の、数値が	)esnatula	個数を返しま	τ.	= 14			
201 201 201 2016 2016 2016 2015	0/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/8 /4/10 /4/11 /4/12 /4/13	<u>木曜日</u> 金曜日 土曜日 月曜日 火曜日 水曜日	85000 85000 57000 178000 168000 85000 78000		最大売上額		範囲内の、寮値が	jetnatuu	相数を返しま	Ţ.	= 14			
201 201 201 2016 2016 2016 2016 2015 2016	5/4/5 5/4/7 5/4/8 6/4/8 6/4/9 //4/10 //4/11 //4/12 //4/13 //4/14		65000 85000 57000 178000 168000 85000 ▼78000 ♀93000		最大売上額		範囲内の、家植が	Festatua	相 <u>数を返しま</u> 使1: 使1	∕#2, (:187	= 14	が入力したセ	ルの参照を11	76 255 個まで
201 201 2016 2016 2016 2016 2016 2016	5/4/5 5/4/7 5/4/8 6/4/9 /4/10 /4/11 /4/12 /4/13 /4/14		63000 85000 57000 178000 168000 85000 78000 93000		最大売上額		範囲内の、数値が	ietnatuu	相数を返しま 種1: 種1 相対	7. ,他2, にはデ EUます。数在7	= 14 9またはデー 9151がわり	9が入力したセ ントされます。	リレの参照を11	96 255 個家で
201 201 2016 2016 2016 2016 2015 2016	0/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/9 /4/10 /4/11 /4/12 /4/13 /4/14	水曜日 金里曜日 日月 火曜日 水曜日 水曜日 水曜日 水曜日	85000     85000     64000     57000     178000     168000     85000     78000     78000		最大売上額		範囲内の、家植が	98713tuk	相 <u>数を返し</u> ま 値1: 値1 指3	す。 ,他2, にはデ ELます。数価す	= 14 - 9またはデー - 今たしけがわり	が入力したセ ントされます。	ルの参照を 1 f	96 255 個まで
201 201 201 2016 2016 2016 2016 2016	0/4/0 6/4/7 6/4/8 6/4/9 /4/10 /4/11 /4/12 /4/13 /4/14		85000 85000 57000 178000 168000 85000 78000 78000 93000		最大克上額	1(64017)	範囲内の、家住が	)esnatuk	個 <u>数を返しま</u> 値1: 値1 指分	す。 ノ他2, にはデ Eします。数値す	= 14 クまたはデー タドレナバカウ	9が入力したセ ントされます。	ルの参照を 1 f	96 255 個まで
201 201 2016 2016 2016 2016 2016 2016	0/4/0 6/4/7 6/4/8 8/4/8 6/4/10 /4/10 /4/11 /4/12 /4/13 /4/13	<u>木曜日</u> 金曜 金曜 日日 日 昭曜 日 り 火曜 昭 日 大 水曜 日 大 水曜 日 二 大 昭 昭 日 日 大 水曜 日 二 大 昭 昭 日 日 大 水 昭 日 日 大 大 の 日 大 大 の 日 大 の 大 の 日 大 の 大 の 日 大 の 大 の			最大売上額		範囲内の、家住が 数式の結果	983135040 14	相 <u>数を返しま</u> 値1: 値1 指3	す。 、他2、、にはデ Eします。 数 <del>値</del> 7	= 14 9またはデー 9たけがわり	タガ入力したセ ントされます。	ルの参照を11	96 255 個まで
201 201 2016 2016 2016 2016 2016 2016	0/4/0 6/4/7 6/4/7 6/4/8 6/4/9 /4/10 /4/10 /4/11 /4/12 /4/13 /4/14	水曜日 金世曜曜日 日月曜曜日 小曜曜日 水曜日 木曜日			最大売上額		範囲内の、数値が 数式の結果 -	98313014 14	相 <u>数を返しま</u> 値1: 値1 相対	す。 、他2、、にはデ ELます。数任う	= 14 9またはデー テータにしがわり	9が入力したセ ントされます。	ルの参照を11	96 255 個まで

### 数式を確定すると数式の結果が【F9】セルに 表示されます。

		A	В	С	D	E	F
	1	売上日報					
	2						
	3	日付	曜日	売上金額			
	4	2016/4/1	金曜日	82000			
	5	2016/4/2	土曜日	88000		売上合計	1425000
	6	2016/4/3	日曜日	147000			
	7	2016/4/4	月曜日	121000		売上平均	101785.714
	8	2016/4/5	火曜日	91 000			
	9	2016/4/6	水曜日	88000		営業日数	14
Ŀ	10	2016/4/7	木曜日	85000	L		•

# 2-2 数式オートコンプリート機能での関数の挿入

関数をキーボードから直接入力する際のサポート機能として搭載されたのが、数式オートコンプリート機能で す。関数の入力中に関数の候補を自動表示してくれる機能です。 ここでは数値の最大値を求める MAX 関数を挿入して最大売上額を求めます。

■ MAX(マックス) 関数 数値データの最大値を返します。

書式 = MAX(数値 1,数値 2,・・・) 数値 : 対象セル、セル範囲、数値などを指定します。

#### ⑦操作 最大売上額を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【F11】セルをクリックします。

関数を入力するので日本語入力モードをオフにします。

②[半角/全角]キーを押します。タスクバーの入力モードが「A」に変更されます。

③「=M」と入力すると「M」で始まる関数が一覧表示されます。「↓」キーを押すか、クリックして、指定した い関数名に移動します。

④「MAX」が、青く選択された状態になったら[Tab]キーを押します。

「= MAX(」と式が入力され、関数の構文がポップアップ表示されます。

	A	В	С	D	E	F	G		ŀ														
1	売上日報																						
2																							
З	日付	曜日	売上金額																				
4	2016/4/1	金曜日	82000																				
5	2016/4/2	土曜日	88000		売上合計	1425000																	
6	2016/4/3	日曜日	147000																				
7	2016/4/4	月曜日	121000		売上平均	101785.714		最大売	上海			=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(	=MAX(
8	2016/4/5	火曜日	91 000					4/1/ 1/1		_	-	6	L 1443//201	AAAV/White a	Adda V/Whited TW	LAAN/ White J Fighter		Adday/Whited [Whiteo]	AAAN//Whitted [Whitto]		Adday(Shitted [Shitted] ]	AMANY/Whited [Whiteo] )	
9	2016/4/6	水曜日	88000		営業日数	14						MAX	MAX(30	MAX(3X/101	MAX(3X/101, [3X	MAX( <b>3X/但工</b> ,[3X/但2	MAX(銳相且,[釵相旦],	MAX(銳相王,[釵和巴乙],	MAX(级相上,[级相之],	MAX(銳相工,[釵相乙],	MAX(銳相工,[釵相之],)	MAX(釼旭工,[釵旭乙],)	MAX(銳相且,[銳相已],)
10	2016/4/7	木曜日	85000									*	*	•	*	*	*	*	*	*	*	*	*
11	2016/4/8	金曜日	64000		最大売上額	=M																	
12	2016/4/9	土曜日	57000			G	MATCH	~															
13	2016/4/10	日曜日	178000			0	MAX																
14	2016/4/11	月曜日	168000			0	MAXA																
15	2016/4/12	火曜日	85000			Ø																	
16	2016/4/13	水曜日	78000			G		אר															
17	2016/4/14	木曜日	93000																				
10						V	PREDIAN																

⑤数値の最大値を求める対象のセル範囲(【C4~C17】セル)をドラッグして選択します。

⑥残りのかっこ「)」を入力し[Enter]キーで 確定します。

数式を確定すると数式の結果が【F11】セルに 表示されます。

F1	1 -	: 🗙 🗸	fx	=1/	AAX(C4:	C17)	
	A	В	С		D	E	F
1	売上日報						
2							
З	日付	曜日	売上金	2客頁			
4	2016/4/1	金曜日	820	000			
5	2016/4/2	土曜日	880	000		売上合計	1425000
6	2016/4/3	日曜日	1470	000			
7	2016/4/4	月曜日	1210	000		売上平均	101785.714
8	2016/4/5	火曜日	910	000			
9	2016/4/6	水曜日	880	000		営業日数	14
10	2016/4/7	木曜日	850	000			
11	2016/4/8	金曜日	640	000		最大売上額	頂 178000
12	2016/4/9	十曜日	570	000			

# 3.条件集計1(SUMIF 関数・COUNTIF 関数)

# 3-1 条件集計とは

男女別の来店者数を集計する、特定のエリアだけの売上合計や、平均売上価格を集計するなど、条件を つけ多角的な視点で集計を行うには、SUMIF、SUMIFS、DSUM 関数などが用意されています。 条件集計関数では、単一条件だけでなく、複数の条件を指定することができます。

### 3-2 SUMIF 関数(単一条件での集計)

SUMIF 関数では、1 つの条件を指定して、その条件と一致するデータの合計を求めることができます。

■SUMIF(サム・イフ)関数「範囲」内で条件を検索し「合計範囲」の該当のセルを合計します。

書式 =SUMIF(範囲, 検索条件, [合計範囲])

範囲:条件を検索するセル範囲を指定します。空白と文字列は無視されます。 検索条件:条件は直接文字列、式や数値で指定するか、条件が入力されたセルを指定します。 文字列や比較演算子で指定する場合、ダブルコーテーションで囲みます。

合計範囲:合計したい値が入力されたセル範囲を指定します。

### ⑦操作条件(曜日が月曜日)に一致する売上金額の合計を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【F7】セルをクリックします。

②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[数学/三角]ボタンから[SUMIF]を選択します。

[範囲]を指定します。[範囲]には条件を検索するセル範囲を指定します。

③「曜日」の列のセル範囲(【B4~B17】セル)をドラッグします。[範囲]に「B4:B17」と表示されます。



[検索条件]を指定します。

④「検索条件]ボックスをクリックします。

⑤[検索条件]が入力された【F5】セルをクリック

します。

「"月曜日"」と直接条件を入力することもできます。



[検索条件]に「F5」と表示されます。

[合計範囲]を指定します。合計したい値が入力された「売上金額」の列のセル範囲を指定します。 ⑥[合計範囲]ボックスをクリックし【C4~C17】セルをドラッグします。

[合計範囲]に「C4: C17」、数式バーには「=SUMIF(B4:B17,F5,C4:C17)」と表示されます。 ⑦[OK]ボタンをクリックします。

04	8 (*	×	✓ fx =	SUMIF(B4:B17	7,F5,C4:C17)	•							
- 14	4	B	C	DE	F	G H	T	J	K	L	м	N	0
1	売上日報												
2													
3	日村	曜日	売上会額						anternals	- C		?	×
4	2018/4/1	主曜日	B2000						SIGV0/JIS	5			_
5	2015/4/2	土曜日	89000	条件	月曜日	SUMIE							
6	2016/4/3	日曜日	147000	9 - 6 <b>- 6</b> - 6						111			
7	2018/4/4	月曜日	121000	売上合計	5,04:017)	(第)	囲 B4:B	17		<b>1</b>	{"金曜日";"土曜日	";"日曜日";")	月
8	2016/4/5	大曜日	91000		S 82 5		-						
9	2016/4/6	水曜日	B5000	责上平均	144500	役案集	F 15			- 181	"月曜日"		
10	2016/4/7	木8曜日	85000			0.112	E C4:C	17	8	15	-(82000-88000-14	7000-12100	0-
11	2016/4/8	金曜日	64000	首集日款		1.00		50).		100	forgoologgalit		wyma
12	2016/4/9	土曜日	57000							1	289000		
13	2016/4/10	日曜日	1780001			医卡尔特斯 医无力		A 10	+				
14	2016/4/11	月曜日	169000			IDALCH ACTROPACITY-	20.2.0°C/P	WELD-108	2.				
15	2016/4/12	大曜日	85000					節囲 には神像	Eの対象となるt	ル範囲を	が指定します。		
16	2016/4/13	水曜日	78000										
17	2016/4/14	木曜日											
18													
19													
20						数3(4)特集 = 28900							
21						A REPORT OF A REPORT							1000
22						201908X00A3L7(H)					OK	-245	NEW
23											_		
24													

数式を確定すると数式の結果が【F7】セルに表示されます。

# 3-3 COUNTIF 関数 (単一条件での集計)

COUNTIF 関数では1つの条件を指定してその条件に一致するセルの個数を求めることができます。

■COUNTIF(カウント・イフ)「範囲」内で条件を検索し該当のセルの個数を求めます。

書式 = COUNTIF(範囲, 検索条件)

範囲:条件を検索するセル範囲を指定します。空白と文字列は無視されます。 検索条件:検索条件は直接文字列や式や数値で指定するか条件が入力されたセルを指定します。 文字列や比較演算子で指定する場合、ダブルコーテーションで囲みます。

### ⑦操作条件(曜日が月曜日)に一致する営業日数を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【F11】セルをクリックします。

②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[その他の関数]ボタンから[統計][COUNTIF]を選択します。

[範囲]を指定します。[範囲]には条件を検索するセル範囲を指定します。

③「曜日」の列のセル範囲(【B4~B17】セル)をドラッグします。 [範囲]に「B4:B17」と表示されます。

④[検索条件]を指定します。[検索条件]ボックスをクリックします。

⑤[検索条件]が入力された【F5】セルをクリックします。「"月曜日"」と直接条件を入力することもできます。 ⑥[検索条件]に「F5」と表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

F5	~	: 🗙	$\checkmark f_x$	=C O	UNTIF(B4:E	317,F5)									
	A	в	С	D	E	F	G	н	Ι	J	к	L	м	N	0
1	売上日報														
2															
3	日付	曜日	売上金額								関数の引き	牧		?	×
4	2016/4/1	金曜日	82000				_								
5	2016/4/2	土曜日	88000		条件	月曜日・ワー	COUNTI	F							
6	2016/4/3	8888	147000							_		<b>ET</b>			
7	2016/4/4	月曜日	121000		売上合計	289000		庫巴	囲 84:81	/		1881 = {"	金曜日";"土曜日";	;"日曜日";")	月曜日
8	2016/4/5	火曜日	91000					栓安冬	/生 F5			🐻 – "E	3 882 (3 11		
9	2016/4/6	水曜日	88000		売上平均	144500		1XANX				- /			
10	2016/4/7	木曜日	85000			_						= 2			
11	2016/4/8	金曜日	64000		営業日数	4:B17,F5)	ビデナわたる	6回に合主わ;	ネオフロ のうた	检索么件!	あするセットの	国教を返しまた	ŧ		
12	2016/4/9	土曜日	57000	1		Ī	18AEC1 UL	1000000000	20100125	1878×1TIC	3X9 2 C/W/	開設で送しまう	/ •		
13	2016/4/10	888	178000						検索領	そ件 には計算	の対象となる	セルを定義する	る条件を、数値、式、	または文字列	して指定
14	2016/4/11	月曜日	168000	1						します。					
15	2016/4/12		85000												
16	2016/4/13	水曜日	78000												
17	2016/4/14	木曜日	93000												
18							叙式の結果	= 2							
19															
20							<u>この関数の/</u>	$V \cup U \cup (H)$					ок	+72	
21															

数式を確定すると数式の結果が【F11】セルに表示されます。

《STEP UP!》 AVERAGEIF 関数
条件に一致するデータの平均を求めるには AVERAGEIF 関数を使用します。
■AVERAGEIF(アベレージ・イフ)関数
「範囲」内で条件を検索し「平均対象範囲」の該当セルの平均を求めます。
書式 = AVERAGEIF (範囲, 条件, [平均対象範囲])
範囲:条件を検索するセル範囲を指定します。空白と文字列は無視されます。
検索条件:条件は直接文字列、式や数値で指定するか、条件が入力されたセルを指定します。
文字列や比較演算子で指定する場合、ダブルコーテーションで囲みます。
平均対象範囲:平均したい値が入力されたセル範囲を指定します。
省略すると「範囲」そのものが「平均対象範囲」となります。

# 4.条件集計 2 (SUMIFS 関数)

# 4-1 SUMIFS 関数

SUMIFS 関数では、複数の条件、すべての条件と一致するデータの合計を求めることができます。

### ■SUMIFS(サム・イフズ)関数

複数条件すべてに一致した「合計対象範囲」の該当のセルを合計します。

書式 =SUMIFS(合計対象範囲, 条件範囲 1, 条件 1, [条件範囲 2, 条件 2], …) 合計条件範囲:合計したい値が入力されたセル範囲を指定します。 条件範囲 1(~127):条件を検索するセル範囲を指定します。 条件1(~127):条件は直接文字列や式や数値で指定するか条件が入力されたセルを指定します。 文字列や比較演算子で指定する場合、ダブルコーテーションで囲みます。

### ⑦操作 2 つの条件を指定して両方の条件と一致する売上金額の合計を求めます。

①関数を挿入するセルを選択します。【G8】セルをクリックします。
②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[数学/三角]ボタンから[SUMIFS]を選択します。
[合計対象範囲]を指定します。合計したい値が入力された「金額」の列のセル範囲を指定します。
③[合計対象範囲]ボックスにカーソルがあることを確認し【C4~C25】セルをドラッグします。
[合計対象範囲]に「C4: C25」と表示されます。

### 条件1(日付が「2010/4/4以降」)の条件範囲と条件を指定します。

[条件範囲 1]には条件を検索する「日付」の列のセル範囲(【A4~A25】セル)を指定します。 ④[条件範囲 1]のボックスをクリックし【A4~A25】セルをドラッグします。

[条件範囲 1]に「A4:A25」と表示されます。

A4 • : 🗙 🗸 🏂 =SUMIFS(C4:	C25,A4:A25)								
A B C D	E F	G	н	Ι	J	к	L	M	N
1 责上明細									
2						問数の	21数	?	×
3 日付 商品名 金額 顧客年代			·			(HISONO)	51504		
4 • 2016/4/1ジャケット 8000 40代			SUMIFS						
5 2016/4/1 紳士スーツ 30000 50代	条件1	>=2016/4/4					arr: .		
6 2016/4/1 紳士スーツ 18000 30代	条件2	紳士スーツ	合計	対象範囲 C4:	C25		= {8000;3000	);18000;8000;7000;	
7 2016/4/1 ジャケット 8000 20代			4	4生統田1 A4·	A25		- {42461·424	51-42461-42461-42	
8 2016/4/2 スラックス 7000 50代	売上合計	4:C25,A4:A25)		CITABLE / / / /	/120		- (12101,121	51,42401,42401,42	
9 2016/4/2 紳士スーツ 32000 30代				条件1			1 = すべて		
10 2016/4/2 スラックス 5000 30代	<u>売上平均</u>	29600							
11 2016/4/3 ジャケット 4500 20代			3	时年期12			- 愛照		
12 2016/4/3 紳士スーツ 18000 40代	購入回数	5							
13 2016/4/3 スラックス 5000 20代									
14 2016/4/4 スラックス 7000 40代							-		
15 2016/4/4i紳士スーツ 28000 20代			特定の条件	に一致する数値の	い会計を求めます。				
16 2016/4/4 ジャケット 12000 40代			NALWATT						
17 2016/4/5 ジャケット 8000 30代				合	†対象範囲: には	合計対象の手	<b>ミ際のセルを指定します。</b>		
18 2016/4/5 スラックス 5000 30代									
19 2016/4/5 紳士スーツ 42000 20代									
20 2016/4/6iジャケット 28000 40代									
21 2016/4/6 紳士スーツ 18000 20代			教堂の住田						
22 j 2016/4/6 紳士スーツ 32000 40代			数式の結果	-					
23 2016/4/ スラックス 9800 40代			708800	11 - P.(11)				01/ 1	and days
24 2016/4//1神士人一ツ 28000 20代			20関数0/	VP7(H)				UK Ŧ1	אשריי
25 92016/4//シャケット 8000 50代									

[条件1]を指定します。

⑤[条件 1]のボックスをクリックし、「検索条件」が入力された【G5】セルをクリックします。

「">=2010/4/4"」と直接条件を入力することもできます。[検索条件]に「G5」と表示されます。

G	5 👻	$\times$ $\checkmark$	$f_x = s$	UMIFS(C4	:C25,A4:	:A25,G5	)								
	A	В	С	D	Е	F	G	н	I		J	К	L	M	N
1	売上明細														
2												関数の	)引数		? ×
3	日付	商品名	金額	顧客年代											
4	2016/4/1	ジャケット	8000	40代				SUMIFS							
5	2016/4/1	紳士スーツ	30000	50代		条件1	D=2016/4/4	1		_			100 mm		
6	2016/4/1	紳士スーツ	18000	30代		条件2	紳士スーツ	- At	対象範囲	C4:C	25		= {8000;3000	0;18000;8000;7000	);
7	2016/4/1	ジャケット	8000	20代				4	2/生統用1	44.4	25		- JA2461:42/	61-42461-42461-42	246'
8	2016/4/2	スラックス	7000	50代		売上合計	25,A4:A25,G5)			71.74	25		- (12101,12	101,72701,72701,72	2402
9	2016/4/2	紳士スーツ	32000	30代					条件1	G5			= ">=2016/4	/4"	
10	2016/4/2	スラックス	5000	30代		売上平均	29600			-			1000 C		
11	2016/4/3	ジャケット	4500	20代				9	€件範囲2				- 参照		
12	2016/4/3	紳士スーツ	18000	40代		購入回数	5								
13	2016/4/3	フラックフ	5000	20代											

条件 2 (商品名が「紳士スーツ」)の条件範囲と条件を指定します。

[条件範囲 2]には条件を検索する「商品名」の列のセル範囲(【B4~B25】セル)を指定します。

⑥[条件範囲 2]のボックスをクリックし【B4~B25】セルをドラッグします。

[条件範囲 2]に「B4:B25」と表示されます。

[条件 2]を指定します。

⑦[条件 2]のボックスをクリックし、「検索条件」が入力された【G6】セルをクリックします。

「"紳士スーツ"」と直接条件を入力することもできます。

[検索条件]に「G6」と表示され、数式バーには「=SUMIFS(C4:C25,A4:A25,G5,B4:B25,G6)」と 表示されます。

⑧[OK]ボタンをクリックします。

Gé	j <b>–</b>	$\times \checkmark$	$f_x$ =s	UMIFS(C4	:C25,A4	1:A25,G5,	B4:B25,G6)									
	A	в	С	D	E	F	G	н	I		J	K		L	M	N
1	売上明細															
2												関数	の引数	r -		? ×
3	日付	商品名	金額	顧客年代								10030	(0) 5150	`		
4	2016/4/1	ジャケット	8000	40代				SUMIFS	5							
5	2016/4/1	紳士スーツ	30000	50代		条件1	>=2016/4/4			04.07			<b>11</b>			
6	2016/4/1	紳士スーツ	18000	30代		条件2	紳士ス ーツ 🖓 🚬	61	计划家和曲	C4:C4	25		E22	= {8000;3000	0;18000;8000;70	00; ^
7	2016/4/1	ジャケット	8000	20代					冬件範囲1	A4:A2	25		1	= {42461:424	61:42461:42461:	42
8	2016/4/2	スラックス	7000	50代		売上合計	35,B4:B25,G6)		ACT BORING				Links	(		
9	2016/4/2	紳士スーツ	32000	30代					条件1	G5			<b>1</b>	= ">=2016/4/	/4"	
10	2016/4/2	スラックス	5000	301代		売上平均	29600		<u>久</u> (#簗田っ	D4+D2	) C		525	Classic for the last		NI <sup>#</sup> •
11	2016/4/3	ジャケット	4500	201代					宋1十郎  出 2	D4.D2			ESSE	= 1 >¥99F;	种エスニッ;种エス	-9;
12	2016/4/3	紳士スーツ	18000	4015		購入回致	5		条件2	G6			16	= "紳士スーツ"		<b>.</b>
13	2016/4/3	スラックス	5000	2015						<u> </u>						
14	2016/4/4	スラックス	7000	401€										= 148000		
15	2016/4/4	紳士スーツ	28000	2015				特定の条	性に一致する	数値の含	計を求めまる	d.				
16	2016/4/4	ジャケット	12000	4015												-
10	2016/4/5	277/91	8000	3015							条件2: (	こは、計算の対	象となる	セルを定義する条何	牛を数値、式、または3	と字列で指定 🚽
18	2016/4/5	人フッソノ人	5000	3017							l	<i>」</i> ます。				-
19	2016/4/5	が中工ス ニワーク	42000	2010												
20	2010/4/0	シャノット	28000	2044												
20	2016/4/6	神王へ ノ	32000	2010				教式の結		00						
23	2016/4/0	フラックフ	9800	4010				30124007143	1100							-
24	2016/4/7	細土フーツ	28000	2018				この開数の	)∧มูเ⊐(H)						ОК	キャンセル
25	2016/4/7	ジャケット	8000	5014												
26	2010/1/1	21777	0000	0010												

数式を確定すると数式の結果が【G8】セルに表示されます。

### 《STEP UP !》 AVERAGEIFS 関数、COUNTIFS 関数

複数条件すべてに一致したセルの値の平均を求めるには AVERAGEIFS 関数、複数条件すべてに一致したセルの個数を求めるには COUNTIFS 関数を使用します。

#### ■AVERAGEIFS(アベレージ・イフズ)関数

書式=AVERAGEIFS(平均対象範囲, 条件範囲 1, 条件 1, [条件範囲 2, 条件 2], ...)

#### ■COUNTIFS(カウント・イフズ)関数

書式= COUNTIFS(検索条件範囲 1, 検索条件 1, [検索条件範囲 2, 検索条件 2], ...)

# 5.条件集計 3(DSUM 関数)

## 5-1 DSUM 関数

データベース関数「DSUM」では、あらかじめ条件を別の領域に入力し、その条件に一致するデータの合計 を求めます。

### ■DSUM(デー・サム)関数

データベースの、指定した列を検索し、条件に一致するデータの合計を求めます。

書式 =DSUM(データベース, フィールド, 条件)

データベース:項目名を含めたデータベース全体を指定します。 フィールド:集計対象のフィールド名が入力されたセルを指定する方法、フィールド名を"商品名"な ど、ダブルコーテーションで囲んで指定する方法、データベースの左端の列を「1」として 右方向に数えた番号を指定する方法などがあります。 条件:条件が設定されているセル範囲を指定します。

#### ■条件の指定方法

条件の指定方法により、すべての条件と一致する「AND 条件」での集計や条件のいずれかを一致する 「OR 条件」での集計、「AND 条件と OR 条件」の組み合わせでの指定など、より複雑な条件を指定する ことができます。検索条件の行の先頭にはデータベースと同じ列見出しを入力します。

すべての条件と一致する「AND条件」で集計する場合、すべて同じ行に条件を入力します。

例)商品名が「紳士スーツ」で、なおかつ顧客年代が「20代」という2条件、すべての条件と一致する

	A	В	С	D
1	日付	商品名	金額	顧客年代
2		紳士スーツ		20代

いずれかの条件と一致する「OR 条件」で集計する場合、行を変え条件を入力します。

例) 商品名が「紳士スーツ」、または顧客年代が「20代」という2条件、いずれかの条件と一致する

- 21	A	В	С	D
1	日付	商品名	金額	顧客年代
2		紳士スーツ		
3				20代

#### □ 滑操作 条件と一致する売上金額の合計を求めます。

今回、条件は以下のように「AND 条件と OR 条件」の組み合わせで指定します。

条件1:商品名が「紳士スーツ」でなおかつ顧客年代が「20代」、

条件2:商品名が「紳士スーツ」でなおかつ顧客年代が「30代」

条件1、条件2いずれかの条件と一致する、「金額」の合計を求めます。

	А	В	С	D
1	日付	商品名	金額	顧客年代
2		紳士スーツ		20代
З		紳士スーツ		30代

①関数を挿入するセルを選択します。【G7】セルをクリックします。

②数式バーの[関数の挿入]ボタンをクリックします。

③[関数の挿入]ダイアログボックスの関数の分類ボックスの▼をクリックし、「データベース」を選択します。 一覧から、「DSUM」を選択し「OK]ボタンをクリックします。

G7		' : X	✓ <b>f</b> x :	=				
4	A	日本日本	C - 会初	日本に	Е	F	G	関数の挿入 ? ×
234		紳士スーツ 紳士スーツ		20代 30代				関数の検索(S): 何がしたいかを簡単に入力して、「検索開始」をクリックしてください。 検索開始(G)
4 5 6	日付 2016/4/1	商品名 ジャケット	金額 8000	顧客年代 40代		W 1 A 51		問数の分類(C): データペース ✓
7 8 9	2016/4/1 2016/4/1 2016/4/1	紳士スーツ 紳士スーツ 紳士スーツ	76000 18000 28000	50代 30代 20代		<u>売上台計</u> 売上平均	34571.42	関数名( <u>N</u> ):
10 11 12	2016/4/2 2016/4/2 2016/4/2	スラックス 紳士スーツ フラックフ	7000 39000 5000	50代 30代 30代		購入回数		DMIN DPRODUCT DSTDEV
13 14	2016/4/3 2016/4/3	ハンリンへ ジャケット 紳士スーツ	4500	20代 40代				
15 16	2016/4/3	スラックス	5000	20代				DVARP Y

[データベース]で表全体のセル範囲を指定します。

④表全体のセル範囲(【A5~D27】セル)をドラッグして指定します。「A5:D27」と表示されます。



⑤[フィールド]を指定します。[フィールド]のボックスを選択し、集計対象のフィールド名【C5】セルをクリックします。「"金額"」と直接フィールド名を指定することもできます。[フィールド]に「C5」と表示されます。



⑥[条件]を指定します。[条件]のボックスを選択し、検索条件が入力された【A1~D3】セルをドラッグします。[条件]に「A1:D3」と表示され、数式バーには「=DSUM(A5:D27,C5,A1:D3)」と表示されます。
⑦[OK]ボタンをクリックします。

A1	- X -	✓ fx	DSUM(A5:	D27,C5,A1:D3)									
14	A B	C	D	E F	G	H	1	2. J	ĸ	1	M	N	3
1	日付 商品名	金額	题客年代										
2	神士スーツ	*******	2014										_
3			52 30ft						問題の心己認知			7	×
4	0H *D#	A#8	Winter of the						DOMAND JURY			Tel Ser Les	
3		22.67	Et E			DSUM							
2	2016/4/15/#751	3000	4010	± 1.4.51	27.41000			45-033	100				
<u></u>	2016/4/17#12(-)	19000	2014	3C.E.m.61	LOAIL07		7-9/1-2	A3.02/	- 121	· ( 117, 8	四石, 五层,	赋者午代	20 -
8	2010年1月21日	00000	2014	書上型物	24524 400		7/-165	CS	16 -	"2:30"			
10	2010/4/10/2	20000	5068	STATE STORE	34011,420				Page 1				
11	2016/4/2 細士7 一/1	99000	30/1	10 × 10 × 2	7		余件	A1:D3	- 195	<ul> <li>A1:D3</li> </ul>			
12	2016/4/2 7 5 27	5000	3011	SHOULD BE	10 10								
3	2016/4/3 -2+7-1	4500	20(+			and sectors			and the second	• 242000			
4	2016/4/3 油十ス ーツ	58000	april			テータペース	の指定された列を	を検索し、条件を満たす	レコードの合計を返しま	Ŧ.,			
15	2016/4/3 7 7-277	5000	2014					= 65 7 1-1+1176		and the state of the state		= 00 71	-
16	2016/4/4 75-277	7000	40(*			1		T-9/1-X EB9/AT	家にはナージハー人を何	NG S CIVOSE	NUMBERORY.	7-9/(-)	16
17	2016/4/4 柳士ス一ツ	82000	2015			1		5 . 520	eterning cover cover				
18	2016/4/4 ジャワット	12000	40ft										
19	2016/4/5 ジャケット	8000	3015										
20	2016/4/5 スラックス	5000	3015			数式の結果	- 242000						
21	2016/4/5 紳士スーツ	42000	2015								-1	1	
22	2016/4/6 ジャケット	29000	4015			20230/	NU7(H)				OK.	キャンセル	6
23	2016/4/6 紳士スーツ	45000	30代							-		Hereis er Hille	-
24	2016/4/6 紳士ス一ツ	56000	40ft					-					-
25	2016/4/7 スラックス	9800	40f-E										
26	2016/4/7 神士スーツ	38000	20(-5										
27	2016/4/7 ジャケット	8000	50(-ť										

数式を確定すると数式の結果が【G7】セルに表示されます。

《STEP UP!》 DAVERAGE 関数、DCOUNT 関数

DAVERAGE 関数は条件に一致するデータの平均を、DCOUNT 関数は条件に一致する数値の個数を 求めることができます。

■DAVERAGE(デー・アベレージ)関数

書式=DAVERAGE (データベース, フィールド, 条件)

■DCOUNT(デー・カウント)関数

書式=DCOUNT (データベース, フィールド, 条件)

# 6. 数値の順位(RANK.EQ 関数)

# 6-1 RANK.EQ 関数

「RANK.EQ 関数」を使うと、指定の範囲内での順位を求めることができます。

■RANK.EQ(ランクイコール)関数 指定の範囲内での順位を返します。

書式 = RANK.EQ(数値,参照,[順序])
 数値:順位を調べる数値やセルを指定します。
 参照:順位をつけるセル範囲を指定します。
 順序:「0」または「1」を指定します。「0」は省略可能です。
 「0」は降順(大きい順)に何番目かを表示
 「1」は昇順(小さい順)に何番目かを表示。

## ◇□操作 得意先別の売上順位を表示します。

売上貢献度の高い東京支店の商品名フィールドのデータの詳細を表示してその要因を分析します。

①関数を挿入するセルを選択します。【C4】セルをクリックします。

②[数式]タブの[関数ライブラリ]グループの[その他の関数]ボタンから[統計]ボタンの[RANK.EQ]を選択します。

③[数値]を指定します。順位を調べる数値が入力されたセル【B4】セルをクリックします。

В	4 🝷 : 🔪	< 🖌 fx	=RANK.	EQ(E	B4)							
1	А	В	С		D	E		F	G	Н	I	J
1	得意先別売上	<u>-</u>		_						関数の引	数	
3	得意先名 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	売上額 「1 895,800	<b>順位</b> K.EQ(B4)		RANK.E	Q						
5	平和商事	758,000					数値	B4			-	895800
б 7	甲和工業	456,800					参照				-	参照
8 9	木村ビジネス 朝倉企画	985,600 325,600					順序				-	論理
10	印度中商事	782,500										:

④[参照]を指定します。[参照]のボックスをクリックし順位をつけるセル範囲(【B4~B10】セル)をドラッ グします。

B4 ▼ : X ✓ f <sub>x</sub> =RANK.EQ(B4,B4:B10)											
	С	D	E	F	G	Н	I	J	К	L	
1 <b>得意先別売上</b>		-				関数の引き	敗	1	1	? ×	
3     得意先名     売上額       4     昭和物産     \$95	順位 800 4,B4:B10)	RANK.EC	2								
5 平和商事 758	000		数	(値 B4			=	895800			
7 明和工業 1,258	900		参	照 B4:B1	10		<b>•</b>	{895800;75	58000;4568	00;12589	
8     木村ビジネス     985.       9     朝倉企画     325	600 600	-	順	序			<b>i</b> =	論理			
10 田中商事 782								3			

⑤式をコピーしてもセル位置が固定されるように[F4]キーを押し絶対参照にします。

[参照]のセル範囲が「\$B\$4:\$B\$10」と絶対参照となります。

[順序]は「売上額」の高い順に表示しますので「0」を指定します。

⑥[順序]のボックスをクリックし「0」を入力します。

数式バーには「=RANK.EQ(B4,\$B\$4:\$B\$10,0)」と表示されます。

⑦[OK]ボタンをクリックします。

С	4 🝷 : 💙	$< \checkmark f_x$	=RANK.E	Q(B4,\$B	\$4:\$B\$10	),0)							
	A	В	С	D	E		F	G	Н	I	J	к	L
1	得意先別売上								ᄪᄬᅭᅎᆋ	**			? ×
2									関鉄のり	£Χ			
3	得意先名	売上額	順位	RANK	FO								
4	昭和物産	895,800	\$B\$10,0)		- 2								
5	半和商争	758,000		-		数値	B4			🌆 = 🕯	895800		
6	平成サービス	456,800		-		关照	¢D¢4+	¢D¢10		<b>EE</b>	[005000.7		00.1259000
/	「り和上来」	1,258,900				≫%R	аран.	30310			1093000;73	56000;4506	00;1258900
0	和自企画	965,600				順序	0			🌆 = 1	FALSE		
10	田中帝事	782,500		-									
11		102,000								=	3		
12				順序に従	って範囲内の	数値を並	に替え	たとき、数値が	何番目に位	置するかを返し	/ます。複数の	数値が同じ川	1回にある場合
13				は、その	極中の最上位	位を返し	ます。						
14							順	序 にけ筋囲	内の数値をす	たべ替える方法	を実す数値	を指定します。	順序に0を指
15							100	定するか	省略すると、『	2月で並べ替:	75n. 0 WS	小の数値を指	定すると、昇順で
16								並べ替え	られます。				
17				_									
18				Wh-P and									
19				安全に	课 = 3						_		
20				7.088米0	00 H 7(H)							OK	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++
22				この関数	W/V//(H)							Nor Nor	キャノビル
23						_			1				_

数式を確定すると数式の結果が【C4】セルに表示されます。

⑧数式をコピーします。【C4】セルの右下隅の■ (フィルハンドル)にマウスポインターを合わせ「十」の形に 変わったら、ドラッグまたは、ダブルクリックします。

【C10】セルまで数式がコピーされ順位が表示されます。

	Δ	В	С			А	В	С	
1	得意先別売上	_			1	得意先別売」	_		
2					2				
3	得意先名	売上額	順位		З	得意先名	売上額	順位	
4	昭和物産	895,800	3		4	昭和物産	895,800	3	}
5	平和帝事	758.000		•	5	平和帝事	758,000	5	)
6	平成サービス	456.800				平成サービス	456,800	6	
7	明和工業	1,258,900			$\Box I$	明和工業	1,258,900	1	1
8	木村ビジネス	985,600			8	木村ビジネス	985,600	2	
9	朝倉企画	325,600		÷.	9	朝倉企画	325,600	7	
10	田中商事	782,500			10	田中商事	782,500	4	
11			-	+	11				BR.
12					12				+

Copyright © PERSOL TEMPSTAFF CO., LTD. All Rights Reserved.